

地域づくり県土警察常任委員会資料

(令和元年11月29日)

	ページ
1 移住定住の促進に向けた取組状況について	【ふるさと人口政策課】・・・1
2 ワークーションの推進に向けた取組について	【ふるさと人口政策課】・・・4
3 県内・県外大学の就職状況等について	【ふるさと人口政策課】・・・5
4 中山間地域等活性化・移住定住促進協議会の開催結果について	【ふるさと人口政策課】・・・7
5 JR西日本「WEST EXPRESS 銀河」の運行決定について	【観光戦略課】・・・8
6 米子上海国際定期便の就航決定及び上海での知事トップセールスについて	【国際観光誘客課】・・・9
7 米子香港国際定期便の運航曜日変更について	【国際観光誘客課】・・・10
8 江原道友好提携25周年記念行事の開催結果について	【交流推進課】・・・11
9 吉林省友好交流25周年記念行事（中国吉林省）への参加結果について	【交流推進課】・・・13
10 妖怪降臨ピック（ようかいオリンピック）with ゲゲゲの鬼屋2019の開催について	【まんが王国官房】・・・15
11 アニメツーリズム首長サミット及びアジア MANGA サミットへの知事出席について	【まんが王国官房】・・・16
12 関西圏における情報発信等について	【関西本部】・・・17
13 名古屋における情報発信等について	【名古屋代表部】・・・21

交流人口拡大本部

移住定住の促進に向けた取組状況について

令和元年11月29日
ふるさと人口政策課

本県への移住定住及び人口減少対策を県民一体となって進めるため、「来んさいな 住んでみないや とっとり」県民会議の幹事会及び若手WG会議、庁内関係課による会議及び鳥取県学生等県内就職強化本部会議を開催しました。

また、令和元年度上半期の鳥取県への移住状況がまとまりましたので、概要を報告します。

1 各会議の概要

(1) 「来んさいな 住んでみないや とっとり」県民会議幹事会及び若手WG会議

ア 目的 (幹事会) 若者の流出防止・Uターン促進の県民運動、移住定住促進強化月間の取組、ふるさと鳥取応援アプリの広報、各団体の主体的な取組等について意見交換
(若手WG) 県民運動の盛り上げのため県民に伝えたいメッセージ、「ふるさと鳥取応援アプリ」の登録促進等について、グループに分かれアイディア出し

イ 日時 令和元年10月30日(水) 午後2時から4時30分まで

ウ 場所 鳥取県立生涯学習センター県民ふれあい会館

エ 出席者 産業界(産): 鳥取県商工会議所連合会、鳥取県中小企業団体中央会
大学等(学): 鳥取大学、公立鳥取環境大学、学校法人藤田学院、米子工業高等専門学校
行政(官): 鳥取県、鳥取県市長会、鳥取県町村会、ふるさと鳥取県定住機構
金融(金): (株)山陰合同銀行、(株)鳥取銀行
労働(労): 日本労働組合総連合会鳥取県連合会
報道(言): 日本海テレビジョン放送(株)、(株)新日本海新聞社

オ 主な意見(幹事会)

- ・若者の流出を防ぐためには、保護者の意識の問題は大きい。産学官金労言が一体となり、県民運動として保護者の意識を変えていきたい。
- ・「若者定着プロジェクト」として、高校二年生を対象に、協賛企業の情報を載せた冊子を検討中。地元で働くのはカッコいいというコンセプトで、若者が見てくれるものを作る。
(若手WG)
- ・鳥取県の良さはコミュニティがあること。仲間と顔を合わせることで離れたくないと思う。
- ・鳥取県のスーパーの魚は目が輝いている。自然、食、水等の良さをPRしていくのがよい。
- ・「ふるさと鳥取応援アプリ」は、保護者や学校の先生にも需要があるのではないか。
- ・気軽に使用できるアプリがよい。飲食店や服屋の一覧等、就職以外の情報が大事。

(2) ふるさと人口対策チーム会議(若者県内就職グループ及びI・J Uターングループ)

ア 目的 若者の県内就職やUターン促進の取組に関する施策の推進について協議

イ 日時 令和元年11月6日(水) 午前9時から12時まで

ウ 場所 県庁内会議室

エ 出席者 県庁内の移住定住施策関係課職員

オ 主な意見(若者県内就職グループ)

- ・県内企業が集まる会合等で、アプリへの企業情報の登録や社員への周知を依頼する。
- ・保護者向けアンケートや懇談等の機会を利用して、保護者にもアプリ情報を届ける。
- ・Uターン率が高い自治体をモデルに取組を検証する。

(I J Uターングループ)

- ・若者の流出防止やUターンを県民運動として盛り上げるキャンペーンを検討する。
- ・従前の移住専門誌を中心とした広報だけでなく、インターネットを活用した広報や、女性をターゲットとした情報発信の取組を強化する。
- ・保護者の意識改革や移住定住の取組についても、引き続き各課連携して進めていく。

(3) 第2回鳥取県学生等県内就職強化本部会議

ア 目的 若者の県内定着、就職についての情報共有を図るとともに、相互連携、協力等により実効性のある取組について協議

イ 日時 令和元年11月13日(水)午後1時15分から3時15分まで

ウ 場所 鳥取県庁第二庁舎4階 第33会議室

エ 出席者 鳥取県商工会議所連合会、鳥取県商工会連合会、鳥取県中小企業団体中央会、町村会、鳥取大学、公立鳥取環境大学、鳥取看護大学・鳥取短期大学、米子工業高等専門学校(事務局)ふるさと鳥取県定住機構、鳥取県

オ 主な意見(学生等の県内定着について)

- ・県内の就職促進のためにいろいろ取り組んでいるが、まだ伸びしろがあるので引き続きやっていきたい。
- ・インターンシップについて、低学年時からの参加を強化していきたい。
- ・学生は、大学や企業に入ったばかりの先輩の言葉の方が心を動かされる。同窓会OB・OGに県内で働く魅力を話してもらって取組を継続して実施していきたい。
- ・一方的な情報発信ではなく双方でコミュニケーションがとれるものの方が良いと思うので、アプリは効果的ではないかと思う。

(ふるさと鳥取応援アプリ登録促進等について)

- ・大学の学期はじめにガイダンスがあるので、アプリ周知の場に活用していただきたい。
- ・県内に就職している友人や先輩など、年の近い方からアプリを紹介してもらうのが有効的ではないか。先輩移住者からのメッセージは大事で、若い人たちが鳥取で楽しんでいる様子をどんどんアピールするのがよい。
- ・インターンシップ受入企業と学生の橋渡しができるので、合同説明会やインターンシップ実施のときに幅広く周知していきたい。

2 協議結果を踏まえた今後の取組(予定)

盆・正月等による県外からの帰省客等が見込まれる8月と12月を「移住定住促進強化月間」と定めて、Uターン・地元定住について帰省中の若者のみならず幅広く県民に意識を持っていただくため、この年末年始も、県民会議参画機関と連携して情報発信を行う。

(取組予定の事業)

- ・「いいね!とっとり」CM(①県外のI J Uターン希望者向け、②県内で働きたい人向け、③県内にいる保護者向けの3種類の動画のテレビスポットCM)を県内民放3社で12月末に放映する。
- ・県政だより1月号に学生の県内就職に関する記事を掲載する。
- ・日本海新聞に、若者・県民へのメッセージを込めた全面広告を掲載する。
- ・日本海新聞及び山陰中央新報の「とっとり県からのお知らせ」コーナーに、未来人材育成奨学金支援制度の案内を掲載する。
- ・成人式に出席する新成人に対し、「ふるさと鳥取応援アプリ」の登録促進等のPRを行う。
- ・各県民会議参画機関の広告媒体等を通じたPRを行う。

3 鳥取県への移住状況について（令和元年度上半期）

令和元年度上半期（4～9月）の鳥取県への移住状況がまとまりました。半年間で674世帯984人であり、過去最多の移住者数となりました。

令和元～4年度の移住者数10,000人に向けて、また、今年度の目標2,500人達成に向けて、引き続き、移住施策の推進に取り組んでまいります。

※上半期の移住者数は単純集計であり、詳細分析は年度末に行います。

市町村名	令和元年度 上半期 (A)		参考					
			平成30年度 上半期(B)		増減 (A-B)		平成30年度 (年間)	
	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数
鳥取市	137	195	155	204	△ 18	△ 9	337	459
米子市	58	112	101	142	△ 43	△ 30	306	457
倉吉市	68	104	84	122	△ 16	△ 18	145	220
境港市	84	122	98	119	△ 14	3	160	209
岩美町	37	55	40	52	△ 3	3	81	102
若桜町	9	19	12	21	△ 3	△ 2	17	26
智頭町	6	14	4	8	2	6	14	28
八頭町	20	34	14	25	6	9	33	55
三朝町	15	19	0	0	15	19	10	13
湯梨浜町	62	85	51	74	11	11	107	142
琴浦町	42	51	45	50	△ 3	1	78	125
北栄町	27	30	31	34	△ 4	△ 4	54	62
日吉津村	4	6	0	0	4	6	32	43
大山町	13	17	8	10	5	7	17	23
南部町	41	44	24	38	17	6	54	75
伯耆町	24	39	9	12	15	27	27	33
日南町	19	27	23	29	△ 4	△ 2	39	46
日野町	2	2	2	4	0	△ 2	12	18
江府町	6	9	7	10	△ 1	△ 1	13	21
合計	674	984	708	954	△ 34	30	1,536	2,157

【参考】平成23年度からの移住状況

年度	人数	
	年間	上半期
平成23年度	504	-
平成24年度	706	-
平成25年度	962	395
平成26年度	1,246	543
平成27年度	1,952	909
平成28年度	2,022	916
平成29年度	2,127	933
平成30年度	2,157	954
令和元年度	-	984

ワーケーションの推進に向けた取組について

令和元年11月29日
ふるさと人口政策課

企業が都市部のオフィスを離れ、自然豊かな環境等で業務を行ったり、休暇を過ごしたりすることで働き方改革や生産性向上を図るワーケーションの適地としての本県の認知度を高め、関係人口の拡大や将来的な移住・拠点化につなげるため、下記のとおり、企業向けワーケーション視察ツアーを実施するとともに、ワーケーション自治体協議会設立に参画しました。

1 企業向けワーケーション視察ツアーの実施

(1) 期 日：令和元年11月11日(月)～11月12日(火)

(2) 参加者：東京及び関西の6企業・団体

(株)日本能率協会マネジメントセンター、(株)スノーピークビジネスソリューションズ、
(株)Kabuk Style、(株)ニット、住友生命保険(相)、(公財)関西経済連合会

(3) 視察先：鳥取市 鳥取砂丘ヨガ体験、佐治アストロパーク(体験・宿泊施設)

八頭町 国登録有形文化財 古民家太田邸(古民家を活かした研修・宿泊施設)、隼ラボ(ワークスペース)、大江ノ郷自然牧場・OOE VALLEY STAY(体験・宿泊施設)

[意見交換出席者](株)ひよこカンパニー、(株)シーセブンハヤブサ、(株)鳥取銀行
八頭町企画課

智頭町 森林セラピー体験、山菜料理みたき園(体験施設)、旧山郷小学校(木造校舎を活かしたワーク・研修施設)

[意見交換出席者](株)ルリエ、智頭町山村再生課

(4) 参加者からの主な意見

- ・アクセス等の環境だけだと勝負できない部分が出てくる。地域のインキュベーション(地域の中小企業やベンチャー企業支援)プログラムをやっているなど、地域と繋がるものがあることは選ばれる場所として強み。(八頭町)
- ・企業の研修、オフサイト(普段の事業所を離れた場所での)ミーティング、社員旅行をワーケーションとして受入していく場合、面白い素材が多くあるので、アクセス部分の工夫が必要。アクセス途中のポイントを紹介して、来るまでも楽しませるなど見せ方の工夫を。(八頭町)
- ・森林セラピーや民泊など、地元の人たちでつくっているというのは良い。こういったことが企業研修を行う中で学びとして提供できると面白い。(智頭町)



2. ワーケーション自治体協議会(WAJ)設立及び記念イベント「ワーケーション・フェスタ in アキバ!」開催

(1) 期 日：令和元年11月18日(月) 9:30～13:30

(2) 場 所：TKP ガーデンシティ PREMIUM 秋葉原2階ホール
(東京都千代田区神田)

(3) 概 要：ワーケーション自治体協議会設立総会、設立宣言署名式等が行われ、本県からは細羽正交流人口拡大本部長が出席し、鳥取県は役員(監事)として協議会の運営に参画することとなりました。また、ミニ EXPO(展示ブース)に出展し、イベント参加企業等へ本県のワーケーションをPRしました。

(4) WAJ 参加団体：和歌山県、長野県、鳥取県、北海道、群馬県、広島県、長野県ほか全国58自治体、
一般社団法人日本テレワーク協会



県内・県外大学の就職状況等について

令和元年11月29日
ふるさと人口政策課

平成31年3月卒業の大学生等の県内就職状況について、県内・県外大学等に協力をいただき調査を行いましたので、その結果を報告します。

<平成31年3月卒業学生の県内就職状況について>

1 県内大学等の県内入学、県内就職の状況

- 全体の県内就職率は、30.8%（前年27.6%）と増加した。
- 鳥取大学の県内就職率は19.7%（前年20.3%）と微減し、公立鳥取環境大学は24%（前年10.0%）と大きく増加した。
⇒環境大学は卒業者のうち県内出身者の比率が高かったことが県内就職率の増加に影響したと思われる。
- 鳥取看護大学は県内就職率が約90%と非常に高く、全体の県内就職率の増加を牽引している。

	卒業生(A) (H31.3卒業)			就職者(C) (H31.3卒業)			うち県内就職(D)		比率(D/C)	
		うち県内出身(B)	比率(B/A)		うち県内就職(D)	うち県内出身	比率(D/C)			
鳥取大学	1,411 (1,459)	253 (254)	17.9% (17.4%)	917 (936)	181 (190)	124	19.7% (20.3%)			
地域学部	194 (194)	64 (61)	33.0% (31.4%)	164 (167)	57 (49)	47	34.8% (29.3%)			
医学部	267 (259)	58 (66)	21.7% (25.5%)	109 (111)	51 (43)	27	46.8% (38.7%)			
工学部	430 (443)	50 (46)	11.6% (10.4%)	219 (210)	22 (30)	16	10.0% (14.3%)			
農学部	221 (249)	30 (25)	13.6% (10.0%)	156 (169)	19 (21)	10	12.2% (12.4%)			
学部計	1,112 (1,145)	202 (198)	18.2% (17.3%)	648 (657)	149 (143)	100	23.0% (21.8%)			
修士・博士前期計	299 (314)	51 (56)	17.1% (17.8%)	269 (279)	32 (47)	24	11.9% (16.8%)			
公立鳥取環境大学	255 (296)	48 (34)	18.8% (11.5%)	229 (260)	55 (26)	32	24.0% (10.0%)			
学部計	254 (294)	48 (34)	18.9% (11.6%)	228 (258)	54 (26)	32	23.7% (10.1%)			
研究科計	1 (2)	0 (0)	0.0% (0.0%)	1 (2)	1 (0)	0	100.0% (0.0%)			
鳥取看護大学	71 (-)	50 (-)	70.4% (-)	64 (-)	58 (-)	43	90.6% (-)			
鳥取短期大学	272 (259)	215 (203)	79.0% (78.4%)	244 (232)	185 (175)	177	75.8% (75.4%)			
米子工業高等専門学校	225 (217)	186 (178)	82.7% (82.0%)	151 (134)	16 (25)	15	10.6% (18.7%)			
合計	2,234 (2,231)	752 (669)	33.7% (30.0%)	1,605 (1,562)	495 (416)	391	30.8% (27.6%)			

※鳥取大学は今年度調査より「博士・博士後期」を調査対象から除外。（社会人学生が含まれており不正確になるため。）

※（ ）内は前年度数値（以下同じ。）

2 県外大学等卒業生の県内就職の状況

- 「本県出身の県外大学卒業生（H31年3月卒）」のUターン率は、30.3%と前回調査（H30年3月卒）より0.6ポイント減少した。
 - ・地区別のUターン率は、中四国九州圏36.7%、関西圏23.9%、関東中部圏12.8%
 - ・就職した学生の中で、鳥取県内に就職した割合であるUターン就職率は36.8%と前回調査より1.8ポイント減少した。
- ⇒Uターン率及びUターン就職率の低下は、全国的な有効求人倍率上昇に伴い、学生の都会志向、大手志向が強まってきたことが要因の一つとなっていると思われる。

※Uターン率：県内高校を卒業して県外大学等に進学し、H31.3に卒業した学生のうち、鳥取県内に就職した学生の割合

Uターン就職率：県内高校を卒業して県外大学等に進学し、H31.3に卒業後就職した学生のうち、鳥取県内に就職した学生の割合

○本県出身者が多い上位50大学（短期大学含む）に対する調査結果

卒業年月	有効回答数 (大学)	県内高校 出身者数 (A)	就職者数 (県内外含む) (B)	県内就職者数 (C)	Uターン率(C/A)			Uターン就職率(C/B)		
					全体	男	女	全体	男	女
31.3	38校	841人	692人	255人	30.3%	25.4%	35.5%	36.8%	33.0%	40.4%
30.3	42校	867人	694人	268人	30.9%	26.1%	36.7%	38.6%	34.5%	43.0%
29.3	45校	987人	776人	324人	32.8%	26.6%	40.3%	41.8%	38.6%	44.6%
28.3	42校	807人	(未調査)	255人	31.6%	25.9%	38.0%	(未調査)	(未調査)	(未調査)
27.3	36校	782人	(未調査)	231人	29.5%	25.7%	35.0%	(未調査)	(未調査)	(未調査)

・文理系別Uターン率：文系30.9% (30.6%)、理系29.5% (31.3%)

・地区別Uターン率：中国・四国・九州：36.7% (37.2%) [男30.7% (28.1%)、女42.7% (47.9%)]
 関西：23.9% (25.4%) [男21.7% (26.5%)、女26.2% (24.4%)]
 関東・中部：12.8% (5.1%) [男6.7% (7.1%)、女33.3% (0.0%)]

【参考1】本県出身者が多い上位50大学（短期大学含む）、関東15大学、関西10大学及びその他協定締結校4校（計79校）に対する調査結果

卒業年月	有効回答数 (大学)	県内高校 出身者数 (A)	就職者数 (県内外含む) (B)	県内就職者数 (C)	Uターン率(C/A)			Uターン就職率(C/B)		
					全体	男	女	全体	男	女
31.3	60校	960人	793人	282人	29.4%	25.3%	33.8%	35.6%	32.5%	38.6%

- ・文理系別Uターン率：文系 29.7%、理系 28.9%
- ・地区別Uターン率：中国・四国・九州：36.7% [男 30.7%、女 42.7%]
 関西：24.4% [男 23.1%、女 25.8%]
 関東・中部：17.0% [男 15.2%、女 21.2%]

【参考2】本県出身者が多い上位20専門学校に対する調査結果（有効回答数10校）※H30から調査開始

- ・Uターン率：39.4% (37.8%) [男 24.5% (28.1%)、女 56.5% (50.0%)]
- ・Uターン就職率：46.4% (43.2%) [男 30.2% (32.4%)、女 63.4% (56.5%)]

中山間地域等活性化・移住定住促進協議会の開催結果について

令和元年11月29日
中山間地域政策課
ふるさと人口政策課

令和元年度第1回鳥取県中山間地域等活性化・移住定住促進協議会を開催し、中山間地域及びまちなか振興施策の実施状況等について、次のとおり議論を行いました。また、今後5G等の情報先端技術の活用により中山間地域の課題解決につなげることを検討するため、(株)ドコモCSから情報提供を受けました。

今回の議論を踏まえて、今後、必要な施策等について検討を進めます。

- 1 日時 令和元年11月7日(木) 午前10時から午後0時10分まで
- 2 場所 県庁議会棟3階特別会議室
- 3 出席者 中山間地域等活性化・移住定住促進協議会委員、県関係部局長等
- 4 報告・協議事項 ・中山間地域振興施策の取組状況等について
・まちなか振興について
・移住定住の促進について
- 5 情報提供事項 「中山間地域における5G等技術の活用について」
- 6 主な意見

〔中山間地域振興施策・まちなか振興に関する意見〕

- ・2025年問題^{*1}が近づいており、今いる人で維持できる社会、地域にどう変えていくのかが大きな課題だと思う。
- ・大きな道は県や市が除雪するが、住宅地の中の除雪は地元対応となっている。平日にいるお年寄りだけでは除雪は無理であり、ボランティアなどに手伝ってもらえるような仕組みがあればいい。
- ・お年寄りなどへの配食サービスに取り組んでおり、8050問題^{*2}や、若い方のひきこもりなどの現実を目にする。ひきこもりの方が仕事をしてくだされば、今の人材不足の助けにもなると思う。
- ・単に人口を増やすだけではなく、その先の、地域の担い手や税収を増やせるような人間を増やしていくことを、次に目指していくべきだと思う。プレイヤーとなる人材をどう育てるか、教育面や産業面から応援していただきたい。
- ・地域の実態について、基本的なデータをしっかりとっておくことが必要である。

※1 団塊の世代が2025年ごろまでに後期高齢者(75歳以上)となることにより、医療費など社会保障費の急増や社会の担い手不足が懸念される問題

※2 80代の親が引きこもりの50代の子どもの生活を支える問題

〔移住定住の促進に関する意見〕

- ・中山間地域の空き家は昔農家だった大きな家が多く、移住者が住めるような小規模な空き家が少ないので、大きな家を敬遠して市部のアパートに住むケースがある。人口流出が進む地域に小家族が住めるような住宅が増えれば、その地域の商店なども維持され、活性化につながると思う。
- ・移住してきたが鳥取のような田舎でも十分住みやすい。メディアをうまく利用し、まずは人に来ていただいて地域を見てもらうことが大切だと思う。
- ・最近では地方都市へ移住後、周辺の農山村に移住する二段階移住が多いと聞く。中山間地域よりも人間関係が希薄な地方都市での受入態勢、フォローを考える必要があると思う。
- ・県人会に参加しない県出身者も多いと思う。これらの方に今の鳥取県の情報や良さをPRすることが重要であり、例えば、同級生ネットワークへの行政のサポートも考えてはどうか。
- ・移住者の数を把握するだけでなく、移住した後の定住状況を把握することが必要である。

(参考)「中山間地域等活性化・移住定住促進協議会」の概要

中山間地域等の振興及び移住定住促進に関する事項を調査審議するために、鳥取県附属機関条例に基づき設置されている附属機関。(現委員任期：平成29年11月20日～令和元年11月19日)

- | | |
|-------------------------|---------------------------|
| 〔委員〕 筒井 一伸 (鳥取大学地域学部教授) | 東口 善一 (ファルコン代表) |
| 山下 和子 (湯梨浜町農業委員会委員) | 入澤 由美 (特定非営利法人YSS だいせん代表) |
| 中村 恭子 (グラフィックデザイナー) | 安達 香澄 (ほわっと米子応援隊代表) |
| 樋口 浩司 (樋口農園代表) | 渡會 昂佑 (合同会社ジブンゴト代表) |
| 川上 幸恵 (美用レディース代表) | 中谷 哲 (公募委員) |

JR西日本「WEST EXPRESS 銀河」の運行決定について

令和元年11月29日
観光戦略課

JR西日本の新たな長距離列車「WEST EXPRESS 銀河」の初便運行区間が山陰に決定しましたので報告します。
「WEST EXPRESS 銀河」と「星取県」のタイアップや関係市町村、観光協会、温泉組合等と連携しながら誘客促進を図るなど、この運行を契機に一層の観光振興を図っていきます。

1 概要

- (1) 運行開始日 令和2年5月8日(金) 運行期間は、5～9月。
- (2) 運行区間 京都・大阪駅～出雲市駅(電化区間・山陽線、伯備線利用)
下り：京都・大阪発(21:00頃)→出雲市着(9:30頃)、上り：出雲市発(16:00頃)→大阪着(6:00頃)
- (3) 県内停車駅 下り：生山駅(6:00頃)、米子駅(7:50頃)
上り：米子駅(17:50頃)、根雨駅(19:00頃)
- (4) 運行頻度 2往復/週程度・夜行特急列車として運行

2 受入体制の準備

銀河の乗客へのおもてなしメニューや県内の停車駅となる生山駅、根雨駅、米子駅での特別なおもてなしの検討・準備を地元市町や島根県と進めていくこととしており、初便運行に伴う歓迎式典などについても今後調整していく予定である。

(おもてなし案)

- ・列車内フリースペースでの観光PR(星取県VRの設置など)
- ・周遊観光促進のためのレンタカー支援
- ・乗客限定特典(プレゼント、観光地等での割引等の特典)の提供

3 おもてなし検討会議の開催

本県での受入環境整備を進めるため、停車駅所在市町、観光協会、温泉組合等と検討会を開催します。

- (1) 日時 令和元年11月29日(金) 午後4時から
- (2) 場所 西部総合事務所 第17会議室

【参考：「WEST EXPRESS 銀河」の概要】

- 運行エリア 京阪神～山陰方面、山陽方面などを一定期間(5～6ヶ月)運行
- 車両 117系6両1編成
- 定員 全席指定・90名程度
- 名称 西日本各地の魅力的な地域を星になぞらえ、それらの地域を結ぶ意味で「WEST EXPRESS 銀河」と命名
- 外装 西日本の美しい海や空をイメージした「瑠璃紺(るりこん)色」
- 内装 1両毎に異なる座席タイプの6両編成で、多様なフリースペースを設定
- 価格 現行の特急料金と同額(グリーン指定席、グリーン個室有り)
※大阪発、米子着のグリーン個室で15,600円程度となる見込み

外観イメージ



ヘッドマーク



客席イメージ
(グリーン個室)



米子上海国際定期便の就航決定及び上海での知事トップセールスについて

令和元年11月29日
国際観光誘客課

上海において知事トップセールスを実施し、米子鬼太郎空港と上海浦東空港を結ぶ国際定期便の就航が正式決定しましたので、以下のとおり報告します。

1 運航計画の概要

- (1) 運航時期：令和2年1月11日に初便運航
- (2) 運航曜日：火曜日・土曜日の週2便
- (3) 運航時間：上海浦東 8:20 発 → 米子 11:35 着
(現地時間) 米子 12:35 発 → 上海浦東 13:50 着
- (4) 使用機材：A320 (158人乗り)
*ビジネス席8席、エコノミー席150席
- (5) 運航会社：上海吉祥航空 (本社：上海市)



上海吉祥航空訪問の様子

2 知事トップセールスの概要

米子上海国際定期便の就航に向け、11月13日から15日にかけて上海において知事トップセールスを実施し、経済団、観光PR団及び島根県の幹部職員等とともに山陰一体となってPRを行った。

(1) 上海山陰県人会との意見交換会

上海周辺に在住する山陰両県出身企業幹部10名との意見交換会を開催し、米子上海便への期待や利活用に対する意見を伺うとともに、中国からの誘客促進に向けた情報発信への協力を要請した。

(2) 趙宏亮 (ジャオ・ホンリアン) 上海吉祥航空総裁ほかとの面談

上海吉祥航空本社で趙宏亮総裁、于成吉 (ユ・チャンジ) 副総裁らと面談し、趙総裁から公式に米子鬼太郎空港と上海を結ぶ路線を開設することが宣言され、于副総裁から令和2年1月11日が就航日となることに言及があった。平井知事から米子上海便就航に向けた尽力に対し謝意を伝えるとともに、今後の利用促進策等について意見交換を行った。

(3) 米子上海便就航に係る記者発表

上海吉祥航空本社に集まった現地メディア7社及び日本メディア4社に対し、趙総裁及び平井知事の両者による記者会見を実施した。

(4) Trip.com (トリップドットコム) グループ訪問

上海吉祥航空のキーエージェントであるC-trip (シートリップ) を運営するTrip.comグループ本社を訪問し、熊星 (シヨン・シン) 執行副総裁ほかと面談し、山陰への誘客について意見交換を行った。

(5) 在上海日本国総領事との面談

磯俣秋男 (いそまたあきお) 在上海日本国総領事と面談し、上海を含む華東地域の最新事情について説明いただくとともに、上海エリアからの誘客や県産品輸出について意見交換を行い、今後、領事館を活用した観光や食のPR事業の実施などで協力していくことで一致した。

(6) 山陰観光 BtoB 商談会

米子上海便を使った山陰への旅行商品造成を促進するため、鳥取県、島根県及び一般社団法人山陰インバウンド機構の共催により、吉祥航空と取引を行う中国の旅行会社18社と山陰の観光事業者との商談会を開催し、知事トップセールスを実施した。

(7) 王均金 (ワン・ジュンジン) 均瑶 (ジュンヤオ) 集団会長ほかとの面談

上海吉祥航空の親会社である上海均瑶集団の本社を訪問し、正式に公表された米子上海便の成功に向けて、平井知事、坂口清太郎米子商工会議所会頭をはじめとする山陰の行政・経済の代表者が同社の王均金会長らと面談し、今後の利用促進策等について活発な意見交換を行った。

(8) 上海華程国際旅行社訪問

上海吉祥航空の日本への送客実績が多い上海華程国際旅行社の本社を訪問し、許知明 (シュウ・ジーミン) 総経理ほかと面談し、山陰への誘客について意見交換を行った。

米子香港国際定期便の運航曜日変更について

令和元年11月29日
国際観光誘客課

米子鬼太郎空港と香港国際空港を結ぶ国際定期便の米子香港便について、令和2年1月第2週から運航曜日が一部変更になりますので、以下のとおり報告します。

1 日程変更概要

(現行) 火曜日・水曜日・土曜日 → (変更後) 火曜日・木曜日・土曜日

※水曜日の運航は令和2年1月1日(水)まで。木曜日の運航は令和2年1月9日(木)から。

2 香港定期便変更後運航スケジュール(時間は現地時間)

米子→香港				香港→米子			
便名	曜日	米子発	香港着	便名	曜日	香港発	米子着
HX661	火	17:25	20:55	HX660	火	11:45	16:25
	木	16:35	19:55		木	11:00	15:35
	土	16:40	20:10		土	11:05	15:40

3 直近の利用状況

香港内で長期化しているデモの影響により、日本人の旅行者が減少しています。

その一方で、米子香港便の外国人搭乗者数が平成28年9月の就航以来初めて3,000人を突破(これまでの最多は、平成30年12月の2,874人)し、搭乗率は前年に比べて下がっているものの、香港からの県内外国人観光客宿泊者数は、令和元年1月から9月まで延べ33,160人と、前年同期24,800人に比べ、35.5%増と堅調に伸びています。

■令和元年10月利用実績(香港航空大阪支店提供)

注：()内は前年同月実績

提供座席数	総搭乗者数	外国人搭乗者数	日本人搭乗者数	搭乗率
4,828席	3,161人	3,009人	152人	65.5%
(3,132席)	(2,533人)	(2,199人)	(334人)	(80.9%)

<参考 11月以降の予約状況 [11月20日現在]>

11月：79.0% (前年同期93.2%) 12月：61.3% (前年同期62.2%)

4 今後の利用対策

[アウトバウンド対策]

- ・旅行会社と連携した第3国旅行商品の造成・販売促進(11月)
- ・香港周辺地域を紹介するテレビ番組制作(12月)

[インバウンド対策]

- ・旅行会社と連携した旅行商品の販売促進(随時)
- ・深センでの観光イベント・観光情報説明会開催(11月29日～12月1日)
- ・香港・深センでのセールスコール(11月)

江原道友好提携25周年記念行事の開催結果について

令和元年11月29日
交流推進課

韓国江原道から崔文洵知事をはじめとする訪問団が来県し、本県との友好提携25周年記念行事を開催したので報告します。

1 県道両知事会談

(1) 日時 11月3日(日)午前9時30分～10時10分

(2) 場所 鳥取県庁特別会議室

(3) 参加者

江原道 崔文洵知事、安権鏞グローバル投資通商局長、梁珉錫体育会事務処長、金胄龍障がい者体育会事務処長ほか

鳥取県 平井伸治知事、竹口大紀大山町長、山口秀樹琴浦町副町長、中永廣樹鳥取県体育協会長、福留史朗鳥取県障がい者スポーツ協会長、小谷幸久鳥取県文化団体連合会会長、黄龍也在日本大韓国民団鳥取県地方本部団長、岡田信俊鳥取県東部地区日韓親善協会長、杉原弘一郎鳥取県西部地区日韓親善協会長、亘寛之鳥取県中部地区日韓親善協会長

[出席団体の友好提携の状況]

- ・大山町×江原道襄陽郡(平成16年5月)
- ・琴浦町×江原道麟蹄郡(平成9年8月)
- ・鳥取県体育協会×江原道体育会(平成13年11月)
- ・鳥取県障がい者スポーツ協会×江原道障がい者体育会(平成30年11月)
- ・鳥取県文化団体連合会×韓国芸術文化団体総連合会江原道支会(平成13年10月)

(4) 概要

- ・平成6年11月に姉妹提携を締結してから今年で25年を迎えるのを記念し、平井知事は、県内の交流関係団体代表とともに、江原道崔文洵知事と会談を行い、地域間の交流が重要であることを再確認し、本県と江原道との友好交流関係を今後も維持・発展させていくことで合意した。
- ・平井知事は、現在の日韓関係の中、知事同士が相互訪問し、25周年をお祝いできるのも、これまで築いてきた強固な友情関係があるからこそとし、崔文洵知事のこれまでの協力に感謝を述べた。また、国と国との関係が上手くいかないことがあっても、地域と地域、人と人とが理解し合えば、人類の大きな価値となると述べ、未来の世代のために、今日の25周年をステップとして、さらに大きな交流へと発展させていこうと呼びかけた。
- ・崔知事は、両国の政治的などころでは、いろいろな問題や困難はあるが、私たちの長い間の友情は壊れることはないとし、文化やスポーツなど、一層交流を拡大していきたいと応え、また、東京オリンピックを契機に、日韓関係が正常化することを祈っていると、江原道としても、東京オリンピック成功のため協力していきたいとの話があった。
- ・出席した両県道の関係団体代表者からは、これまでの江原道との各分野における交流状況を振り返りながら、今後も交流を維持・発展させていきたいとの決意が述べられた。

2 両県道大学生交流事業参加者からの活動報告

(1) 日時 11月3日(日)午前10時30分～10時45分

(2) 場所 鳥取県知事公邸第1応接室

(3) 参加者

江原道 崔文洵知事

鳥取県 平井伸治知事

江原道大学生9名(ハンリム大学校4名、江原大学校2名、江陵原州大学3名)、引率2名

鳥取県大学生8名(鳥取大学5名、鳥取環境大学3名)、引率2名

(4) 概要

- ・鳥取県と江原道の友好提携25周年を記念して、次世代の交流人材の育成を目的に実施した両県道の大学生の相互派遣事業に参加した大学生が両知事に活動報告を行った。
- ・大学生からは、両地域の抱える課題やこれからの日韓関係を議論し合うなど充実した交流を行い、直接会って交流することの重要性に気付いたことや、かけがえのない友情を育んだことが報告された。
- ・両知事からは、鳥取県と江原道の交流を支えていく未来の世代の若者たちの交流に対し、これからも引き続き交流を促進していくよう激励の言葉があった。

3 その他

知事公邸中庭にて、裏千家淡交会鳥取支部によるお茶のふるまいを行い、日本文化を体験いただいたほか、登録有形文化財「太田邸」(八頭町)にて、昼食会を行い、両地域交流関係者の懇親を深めた。



知事会談



大学生活動報告

吉林省友好交流25周年記念行事（中国吉林省）への参加結果について

令和元年11月29日

交流推進課

高橋紀子鳥取県統轄監が、中国吉林省で開催された本県との友好交流25周年記念行事に、県内関係者とともに出席しました。

1 鳥取県からの訪問団

行政団：高橋統轄監 ほか3名

民間団、芸能団：鳥取県日中友好協会 中野隆、因幡の傘踊り保存会（3名） ほか4名

経済団：県通商物流課2名、県内企業2名 計16名

2 吉林省地方政府との面談、記念式典

(1) 日 時 11月11日（月）午後5時から

(2) 場 所 長春シャングリラホテル（吉林省長春市）

(3) 対 応 吉林省 張志軍（ジャンジージュン）副省長、蔣延輝（ジャンエンワイ）外事弁公室主任ほか

(4) 概 要

- ・平成6年9月に友好交流に関する覚書を締結してから今年で25周年を迎えるのを記念し、高橋統轄監は、県内の交流関係団体関係者とともに、吉林省張志軍副省長と会談を行い、地域間の交流が重要であることを再確認し、本県と吉林省との友好交流関係を今後も維持・発展させていくことで合意した。
- ・会談の冒頭、張志軍副省長から、「今年の6月に安倍首相の招へいのもと、習近平国家主席がG20に参加し、重要なコンセンサスが得られたことから、鳥取県と吉林省も新しい未来に向けて、新しいより良い友好交流ができるようにしていきたい」と発言があり、高橋統轄監に対して両地域の交流促進への尽力に感謝の意を述べるとともに、「青少年交流を推進し、鳥取県と共に次世代間交流の橋をかけたい」との話があった。
- ・高橋統轄監は、張副省長を始め、吉林省関係者のこれまでの友好交流の尽力に対して感謝の意を述べるとともに、これまでの25年間で築き上げた青少年交流を始めとする交流を次の25年に向けても続けていきたいと述べた。
- ・会見の後、記念式典が開催され、25年の交流の歩みを振り返り、双方の文化芸術を披露し、関係者一同で祝いあった。

3 吉林省東北師範大学表敬訪問

(1) 日 時 11月11日（月）午前10時40分～11時30分

(2) 場 所 吉林省東北師範大学（吉林省長春市）

(3) 対 応 東北師範大学副学長 韓東育（ハンドンユク）ほか

(4) 概 要

- ・韓副学長からは、この度の訪問に対する歓迎の言葉とともに、今年友好交流25周年を迎えることに対するお祝いの言葉を述べられた。
- ・高橋統轄監は、1995年から受け入れていただいている21名の県職員が、交流の礎となっていることについて感謝し、今後も引き続き交流を発展させていきたいと述べた。

※東北師範大学 1946年に創立した中国国家教育部直属の重点大学。吉林省との人材交流の一環として、平成7年から本県職員を派遣し、中国語の学習等を実施。

4 吉林大学表敬訪問

(1) 日 時 11月11日（月）午後1時40分～3時

(2) 場 所 吉林大学（吉林省長春市）

(3) 対 応 吉林大学学長 張希（ジャンシ）、吉林大学名誉教授（元鳥取大学教授） 王勝今（ワンショウジン）ほか

(4) 概 要

- ・張学長からは、鳥取県と吉林省の架け橋となれるよう尽力したいと述べられたとともに、吉林大学と鳥取大学との交流が今後も続いていくことを期待しているとの言葉が述べられた。
- ・高橋統轄監は、長年、学術研究等で交流を続け、今年度はADAS・EVプロジェクトで自動車工程学院の学生派遣に協力いただいていることに対して感謝の言葉を述べ、鳥取県と吉林省の発展のため人材

交流を今後も続けていくことが重要であると述べた。

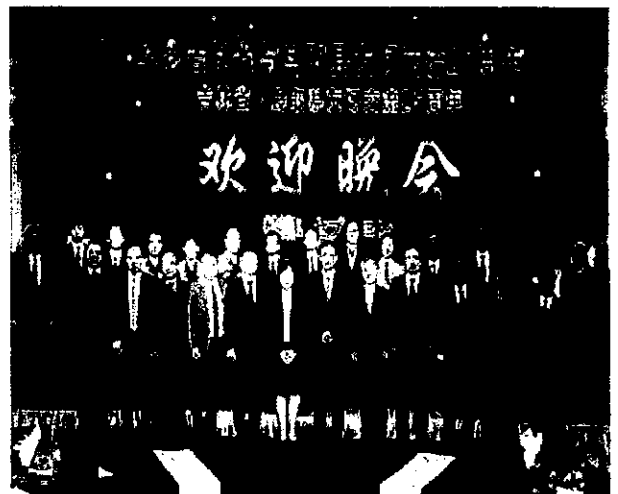
※吉林大学 1946年に創立した中国国家教育部直属の重点大学。吉林省との人材交流の一環として、平成31年から鳥取県内の大学生の短期留学（1年間）の受入れを実施。また、ADAS・EVプロジェクトの一環で、学生の鳥取県内企業へのインターンシップ派遣を検討中

5 その他実施事業概要

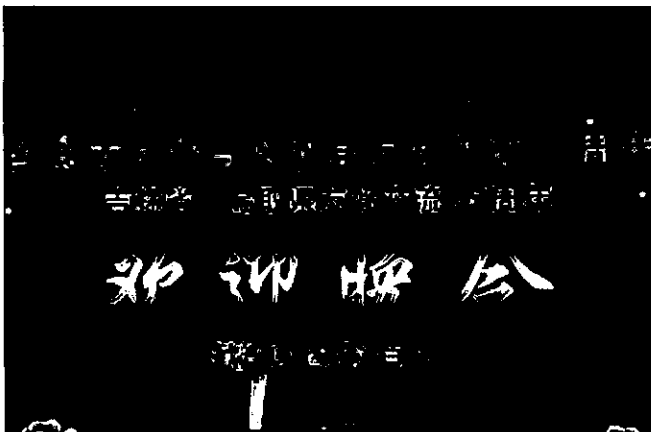
鳥取県日中友好協会が、鳥取市と友好提携している延辺朝鮮族自治州及び吉林省の対外友好協会と今後の民間交流の活発化に向けて協議したほか、吉林省芸能団を訪問し、因幡の傘踊り保存会と吉林省芸能団が互いに両県省の芸能披露を行い、交流の深化を図った。また、鳥取県内企業と吉林省内企業との商談を実施し、今後のビジネスの可能性を探った。



吉林省副省長との面談



記念式典（集合写真）



記念式典（統轄監挨拶）



東北師範大学副学長との面談



吉林大学学長との面談

妖怪降臨ピック（ようかいこオリンピック）with ゲゲゲ忌 2019 の開催について

令和元年11月29日
まんが王国官房

1 開催目的

妖怪文化を通じて連携している岩手県、鳥取県、徳島県の3県が、妖怪をテーマに各地域の魅力を発信する共同イベント「妖怪降臨ピック with ゲゲゲ忌 2019」を東京都調布市で開催し、首都圏に向けて3県の魅力を発信します。

※催事名は「妖怪の降臨」と「オリンピック」をかけた造語で、徳島県からの提案によるものです。水木しげる先生の命日を偲ぶ「ゲゲゲ忌」（調布市主催）と同日開催します。

2 実施主体

主催：岩手県・鳥取県・徳島県（岩手・鳥取・徳島妖怪文化連携事業実行委員会）

協力：アニメ「ゲゲゲの鬼太郎」・東映アニメーション

ラクーンエージェンシー（京極夏彦（きょうごく なつひこ）氏事務所）

調布市関係（市役所、文化コミュニティ振興財団、社会福祉協議会）

3 開催期日 令和元年11月30日（土）

4 開催場所 調布市文化会館たづくり（東京都調布市小島町2-33-1）及び調布駅前広場

5 開催時間・内容

(1) メインイベント（調布市文化会館たづくり「くすのきホール」）午後4時30分～7時

時間	項目	内容
午後4時30分～5時	オープニング	・鳥取県「ゲゲゲの鬼太郎と仲間たち」※境港市の紹介 ・岩手県郷土芸能「赤坂さんさ」 ・徳島県「阿波おどり」
午後5時～6時	スペシャルトーク 妖怪聖地探訪記	アニメ「ゲゲゲの鬼太郎」と3県の知事が各地域の妖怪文化の魅力についてトークセッションを行う ・鳥取県 平井伸治知事 ・岩手県 達増拓也（たっそたくや）知事 ・徳島県 飯泉嘉門（いいずみかもん）知事 ・声優 庄司宇芽香（しょうじうめか）さん（ねこ娘役） ・声優 藤井ゆきよ（ふじいゆきよ）さん（犬山まな役） ・プロデューサー 永富大地（ながとみだいち）さん
午後6時～同45分	京極夏彦氏講演会	3県の妖怪文化や水木しげる氏にちなんだ講演会
午後6時45分～7時	豪華景品抽選会	豪華賞品が当たる抽選会 ※当県の商品は松葉ガニ

(2) 関連イベント（調布駅前広場）午前10時～午後2時30分

○物産観光PRブース（岩手県ブース、鳥取県ブース、徳島県ブース）

○食のふるまい（ひつつみ（岩手県）、なると金時の焼き芋（徳島県））

○伝統芸能の披露（赤坂さんさ（岩手県）、阿波おどり（徳島県））

(3) その他

○妖怪文化実演

・語り部の昔話（岩手県）、民間の人形劇（徳島県）等（調布市文化会館たづくり「エントランス」）

○妖怪文化紹介展示（11月23日～11月30日）

・3県の妖怪文化をパネル等で紹介展示（調布市文化会館たづくり「エントランス」）

○SNSキャンペーン

・東京都内の3県アンテナショップや調布駅前広場の3県PRブースの写真を撮ってSNSに投稿すると、当日のメインイベントの豪華景品抽選会へ参加できます。

アニメツーリズム首長サミット及びアジア MANGA サミットへの知事出席について

令和元年 11 月 29 日

まんが王国官房

1 アニメツーリズム首長サミット

一般社団法人アニメツーリズム協会の主催により 12 月 1 日に「アニメツーリズム首長サミット in 北九州」が初めて開催されます。

この事業は、アニメ作品等に登場する場所を実際に訪れる“聖地巡礼”というファン行動が地域にもたらす効果に着目し、これを活用した観光振興等に取り組む自治体の長が一堂に会して、取組の一層の推進のために手を取り合うことを目指して開催されるものです。

- (1) 期 日：12 月 1 日（日）
- (2) 時間及び会場
サミット：9 時～11 時 30 分 北九州国際会議場メインホール（北九州市）
宣 言：12 時 30 分～13 時 西日本総合展示場新館（北九州市）
- (3) 主 催：一般社団法人アニメツーリズム協会
- (4) 出席首長：平井知事、岩手県知事、横手市長（秋田県）、飛騨市長（岐阜県）、北九州市長（福岡県）※埼玉県知事、唐津市長（佐賀県）、長崎県知事が出席を検討中
- (5) 内 容：アニメやマンガ等を活用した地域振興や観光誘客に取り組む自治体の首長が一堂に会し、それぞれの取り組みを発表し意見交換を行う。その上で、出席首長による「アニメツーリズム宣言」を発表する。
- (6) 来 場 者：アジア MANGA サミット参加者約 190 名（国内約 90 名、海外約 100 名程度の漫画関係者）、一般参加者約 200 名（北九州ポップカルチャーフェスティバル来場者等）※中・韓・英の同時通訳あり
- (7) そ の 他：「訪れてみたい日本のアニメ聖地 88（2020 年版）」（10 月 29 日発表）として、「ゲゲゲの鬼太郎」（境港市及び調布市）が新たに選定された。

2 アジア MANGA サミット北九州大会

2012 年の鳥取大会以来 7 年ぶりに日本で開催される「アジア MANGA サミット」に、前回開催地代表として出席します。（知事は「フェアウェルパーティー」のみ参加）

- (1) 期 日：11 月 29 日（金）～12 月 1 日（日）
- (2) 会 場：北九州国際会議場、西日本総合展示場ほか（北九州市）
- (3) 主 催：アジア MANGA サミット北九州大会実行委員会
- (4) テ ー マ：マンガ・アーカイブ –マンガの保存と伝承–
- (5) 参 加 者：里中満智子氏（NPO アジア MANGA サミット運営本部代表）、ちばてつや氏（公益社団法人日本漫画家協会会長）、北橋健治氏（北九州市長）、海外漫画関係者 ほか
- (6) 内 容：加盟各国の漫画関係者が一堂に会し、各国代表による発表、シンポジウム等を通じ、漫画文化の未来を展望する。
- (7) フェアウェルパーティー概要
日 時：12 月 1 日（日） 18 時～20 時
会 場：北九州国際会議場イベントホール（北九州市）
※知事は前回開催地代表として挨拶する予定です。

関西圏における情報発信等について

令和元年11月29日
関西本部

関西圏における、交流人口の拡大、観光誘客及び販路開拓等に係る情報発信等の取組について、以下のとおり報告します。

1 県産品の主なPRの状況

(1) 蟹取県から解禁されたばかりの境港産ズワイガニの販売PR

- ①実施日：令和元年11月7日（木）
- ②場 所：阪神百貨店梅田本店（大阪市北区）
- ③主 催：(株)阪神髭定、関西本部
- ④協 力：境港市
- ⑤概 要：境漁港に初水揚げされた「松葉がに」「親がに」の販売PRを行った。来場者からは「500万円のカニの記事をみた。すごいね。」「毎年鳥取のカニを買っている。」などの声があった。

(2) JR大阪駅みのりみのるマルシェ『鳥取県「鳥取の実り」』に出展

- ①実施日：令和元年11月9日（土）
- ②場 所：JR大阪駅 大阪ステーションシティ2階 アトリウム広場（大阪市北区）
- ③主 催：JA全農とっとり
- ④協 力：JA鳥取西部、(一社)鳥取県物産協会、鳥取県（関西本部、食のみやこ推進課）
- ⑤概 要：鳥取県のブランド米「星空舞」や王秋梨、特産品などの販売とともに、県の観光と移住定住のPRを行った。

(3) 食のみやこ鳥取県鳥取フェアの開催

- ①実施日：令和元年11月13日（水）から24日（日）まで
- ②場 所：松坂屋高槻店（高槻市）
- ③主 催：松坂屋高槻店、鳥取県（関西本部、販路拡大・輸出促進課）
- ④概 要：松葉がに、親がに、干物、紅ズワイガニなどの水産加工品、白ねぎ、ブロッコリー、ねばりっこ、ミニトマト、王秋梨などの青果物、大山乳業の各種乳製品や大山がいな鶏などの畜産加工品、銘菓、北条ワインなどの販売に加え、県の観光PRを行った。「打吹公園だんご」や「ふろしきまんじゅう」も認知度が高く買いに来られる方があり、また、来場者からは「王秋梨は初めて知ったが、美味しい」などの声があった。

(4) 第8回鳥取県フェア松葉がに祭り IN マグロパークに出展

- ①実施日：令和元年11月16日（土）
- ②場 所：マグロパーク（堺市）
- ③主 催：大起水産(株)
- ④協 力：鳥取県漁協、岩美町、鳥取県（関西本部、水産課）
- ⑤概 要：松葉がに、親がに、親がに汁、白ねぎ、ブロッコリー、ねばりっこ等の販売に加え、県の観光PRを行った。来場者からは「毎年、親がに釣りが楽しみで来ている」「かに汁が美味しい。温まる。」などの声があった。

(5) 「わったいな！とっとり市 in 箕面」を開催

- ①実施日：令和元年11月21日（木）
- ②場 所：箕面郵便局（箕面市）
- ③主 催：日本郵便(株)中国支社、関西本部
- ④協 力：鳥取市、岩美町、八頭町、若桜町、智頭町、(一社)鳥取県物産協会、山陰三ツ星マーケット
- ⑤概 要：松葉がに、親がに、各種生鮮果実・野菜、焼き鯖寿司、柿の葉寿司、おこわ、味噌、土産菓子等の販売PRに加え、県の観光PRを行った。

(6) (株)光洋でのトットリ特集の開催

- ①実施日：令和元年11月23日（土）から24日（日）まで
- ②場 所：(株)光洋全店（関西圏、約80店舗）
- ③主 催：(株)光洋、鳥取県（関西本部、販路拡大・輸出促進課）
- ④概 要：松葉がに、親がに、白ねぎ、ブロッコリー、ねばりっこ等の販売PRを行った。
11月22日（金）から24日（日）は、ピーコックストア千里中央店で本県特産品の販売も併せて実施した。

(7) 「第4回鳥取県かに祭り」の開催

- ①実施日：令和元年11月24日（日）
- ②場 所：京阪百貨店前カナディアンスクウェア（守口市）
- ③主 催：京阪百貨店
- ④協 力：大起水産(株)、鳥取県漁協、関西本部
- ⑤概 要：松葉がに・親がに、紅ズワイガニ、かに汁、白ねぎ、ブロッコリー、ねばりっこ、地酒・ワインなどの販売を行ったほか、かに釣り、ステージイベントや、パンフレット配布等により鳥取県をPRした。かに汁が完売するなど大変好評であった。

2 各種商談会取組状況

各種商談会へのバイヤー招へいや県内事業者の出展支援を実施。

名 称	期日及び会場	内 容
第23回買いまっせ！売れ筋商品発掘市	11月14日（木） 大阪府立体育会館	大阪商工会議所主催 関西圏流通企業等への県産品の販路開拓を行った。
第4回とっとり食の商談会 in 神戸	11月19日（火） 日本政策金融公庫 神戸支店	日本政策金融公庫5支店主催 関西圏食品流通企業等への県産品の販路開拓を行った。
ビジネスマッチング商談・展示会 2019in 出雲	11月21日（木） 平田文化館プラタナスホール	中海・宍道湖・大山圏域ものづくり連携事業実行委員会主催 「ものづくり」関連企業を対象としたビジネスマッチングを行った。

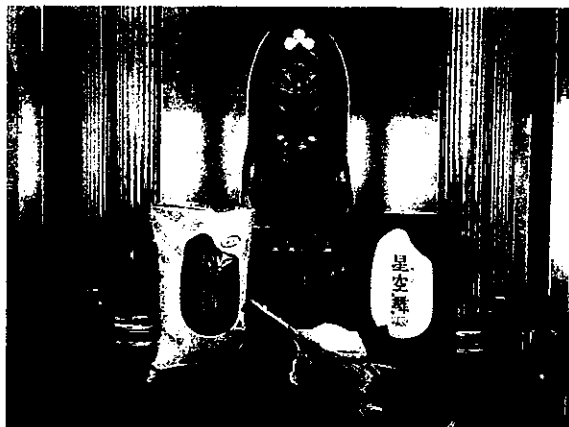
3 交流人口拡大に向けた取組。

(1) なんばウォークでの鳥取県観光PRイベントの開催

- ①実施日：令和元年10月2日（水）
- ②場 所：なんばウォーク、(くじらパーク)（大阪市中央区）
- ③主 催：関西本部
- ④概 要：ラグビーワールドカップで盛り上がる関西圏の中でもインバウンド旅行者が多い難波で鳥取県の観光PRを行った。「コナンが好きなので鳥取に行きたい」「温泉に行きたいが温泉地にはどういったらよいか」など、鳥取県に旅行を検討されている方も多く、良い観光PRとなった。

(2) 通天閣「ピリケンさん」に星空舞を奉納！イベントの開催

- ①実施日：令和元年10月4日（金）
- ②場 所：通天閣（大阪市浪速区）
- ③主 催：関西本部
- ④概 要：通天閣のピリケンさんに、観光親善大使他が鳥取県のブランド米「星空舞」を奉納するとともに、来場者に星空舞と鳥取県の観光PRを行った。



(3) JR大阪駅での鳥取県観光PRイベント「蟹取県へウェルカニ」の開催

- ①実施日：令和元年10月6日（日）
- ②場 所：JR大阪駅「時空の広場」「アトリウム広場」（大阪市北区）
- ③主 催：関西本部
- ④協 力：とっとり花回廊
- ⑤概 要：大阪ステーションシティ5階「時空の広場」で開催された「フラワーアートミュージアム2019」（9月27日から10月14日まで開催）に、とっとり花回廊製作の花壇を展示した。併せて、「ウェルカニキャンペーン」他鳥取県の観光PRを行った。「鳥取の花壇良かった」との声も多く聞かれ、また、ひよっこりはんのかにとり体操動画も子供中心に注目を集め、蟹取県ウェルカニキャンペーンの良いPRとなった。

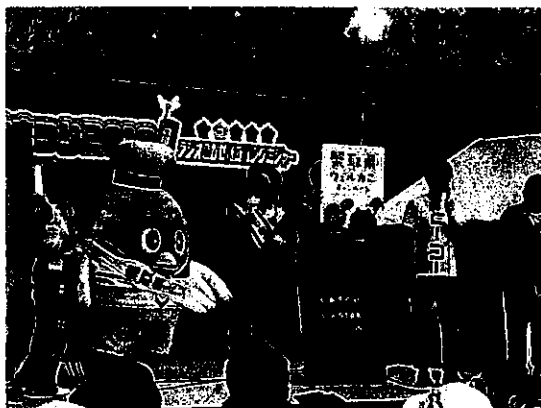


(4) 道頓堀リバーフェスティバル2019に出展

- ①実施日：令和元年10月13日（日）
- ②場 所：湊町リバープレイス等（大阪市浪速区）
- ③主 催：（一社）大阪活性化事業実行委員会
- ④概 要：大阪ミナミで地元の商店会・企業等が参加して開催される秋のイベントに、鳥取県の事業者・観光関係者・行政がまとめて参加し、ブースで「ウェルカニキャンペーン」他鳥取県の観光PR及び物販を行った。ステージでは観光親善大使による観光PR、しゃんしゃん傘踊りの披露等を行った。

(5) MBSラジオ秋まつり2019に出展

- ①実施日：令和元年11月4日（月・祝）
- ②場 所：長居公園自由広場（大阪市東住吉区）
- ③主 催：(株) 毎日放送
- ④概 要：MBSラジオ秋まつりに出展し、星空舞等の鳥取県の物産販売と、観光親善大使による鳥取県の観光PRを行った。鳥取県産米や柿等の物産販売に長い列ができるなど好評で、観光情報も含め多くの方に鳥取県の魅力を発信することができた。ステージで紹介した「蟹取県」などの情報にも興味を持たれる方も多く、「蟹を食べるならどこで食べたらいいか」「蟹を食べるならいつ頃がよいか」などの声もあった。



(6) 京都サンガ「ファミリーイナダスペシャルデー」に出展

- ①実施日：令和元年11月16日（土）
- ②場 所：たけびしスタジアム（西京極スタジアム）（京都市右京区）
- ③主 催：(株) 京都パープルサンガ
- ④概 要：J2 京都サンガ主催試合の併設イベント「ファミリーイナダスペシャルデー」に出展した。ウェルカニキャンペーンを中心とした鳥取県の旬の観光情報を効果的に発信した。約1万人の来場があり、「おすすめの観光スポットは」「かにを食べに行きたい」など多くの声があった。

(7) 第32回東大阪産業展「テクノメッセ東大阪2019」に出展

- ①実施日：令和元年11月6日（水）・7日（木）
- ②場 所：マイドームおおさか（大阪市中央区本町橋）
- ③主 催：東大阪商工会議所
- ④出展者：関西本部、パイオニア精工(株)鳥取事業所、鳥取城北日本語学校、MASUYAMA-MFG(株)
- ⑤概 要：関西本部が会員となっている東大阪商工会議所が主催する展示会に出展し、県内企業の金属加工技術や防災用品についてPRするとともに鳥取西道路の開通やウェルカニキャンペーン等について広く情報発信を行った。

4 媒体を活用した情報発信の状況

媒体名	時期	PR内容
毎日放送「ちちんぷいぷい」	9月26日（木）	オレイン55視聴者プレゼント
フジサンケイビジネスアイ	10月24日（木） 11月7日（木）	ウェルカニキャンペーン
冬びあ	10月25日（金）	ウェルカニキャンペーン
旬刊旅行新聞	11月1日（金）	ウェルカニキャンペーン
WELBOX（福利厚生会員向け冊子、Web掲載）	12月2日（月）	ウェルカニキャンペーン、温泉地等
遊・悠・West関西版冬号	12月20日（予定）	ウェルカニキャンペーン
てんとう虫/express	12月20日（予定）	鳥取県の観光情報

名古屋における情報発信等について

令和元年11月29日

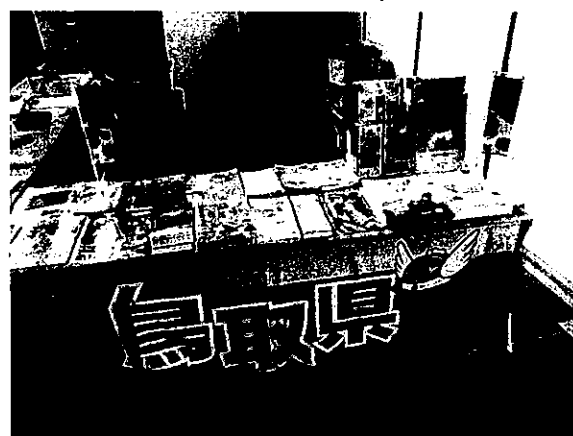
名古屋代表部

名古屋における、交流人口の拡大、観光誘客及び販路開拓等に係る情報発信等の取組について、以下のとおり報告します。

1 交流人口拡大に向けた取組

(1) 6時間リレーマラソン2019への出展【実施済】

- ① 日 時：令和元年10月19日（土）
- ② 場 所：ナゴヤドーム（名古屋市東区）
- ③ 参加団体：名古屋代表部、鳥取県観光連盟
- ④ 概 要：観光情報冊子等の配布や大型ビジョンでの鳥取県プロモーションビデオの放映等を行うとともに、移住定住ガイドブックやふるさと納税冊子の配布等を行った。県内のマラソンや交通状況等についての問い合わせがあった。



(2) JR名古屋駅構内でのPR【実施済】

- ① 日 時：令和元年11月4日（月・振替）、5日（火）
- ② 場 所：JR名古屋駅構内（名古屋市中村区）
- ③ 主 催：名古屋代表部、鳥取県観光連盟
- ④ 概 要：JR名古屋駅構内のイベントスペースやメディア、旅行会社で鳥取県の観光情報、交通状況等について情報発信を行うとともに、同時期に開催しているイベントの告知を行い、連動性を図ることができた。立ち寄られたお客様によるSNSによる発信も行われた。



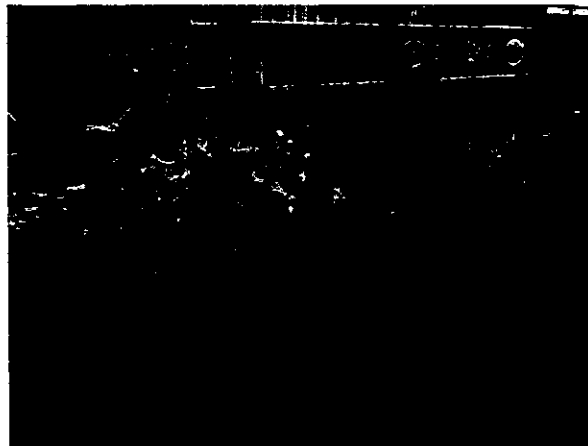
2 県産品の販路拡大

(1) ジェイアール名古屋タカシマヤでの松葉がに、親がにの試食宣伝販売【実施済】

①期 間：令和元年11月9日（土）～10日（日）

②場 所：ジェイアール名古屋タカシマヤ地下2階生鮮食品売場（名古屋市中村区）

③概 要：松葉がに、親がにの試食宣伝販売を行った。初日は、10時の開店直後から多くのお客様が並び、松葉がにをまとめ買いをされる方が多かった。2日間で、松葉がに約400枚、親がに約1,500枚の販売につながった。



(2) 名古屋駅構内のレストランでの「鳥取フェア」の実施【実施中】

①期 間：令和元年11月1日（金）～30日（土）

②場 所：JR名古屋駅構内及びJRゲートタワー内の6店舗（名古屋市中村区）

③概 要：ジェイアール東海フードサービス（株）に協力いただき、期間中、紅ズワイガニや鳥取和牛、吉川豚等を使ったメニューを提供いただいた。これに併せ、対象商品をお食事されたお客様先着600名様に「星空舞」をプレゼントし、PRを行った。

(3) 名古屋市内の飲食店での「鳥取フェア」の実施【実施済】

①期 間：令和元年11月11日（月）～16日（土）

②場 所：松と豚（名古屋市中区）

③概 要：期間中、親がにをメイン食材に、サワラ、ヒラメなどの魚介、白ねぎ、ブロッコリーなどの野菜、とうふちくわなど鳥取県産食材を使ったメニューを提供いただいた。



(4) 全国センター物産展への出展【実施中】

①期 間：令和元年11月26日（火）～30日（土）

②場 所：金山総合駅コンコース（名古屋市中区）

③概 要：久屋中日ビルに入居している各道県が、期間中各地の名産品の販売を行った。鳥取県は物産協会に出展いただき、とうふちくわや地元銘菓などを販売した。

3 観光情報等の発信

(1) 中日新聞朝刊への広告記事掲載【実施済】

①掲載日：令和元年11月3日（日）

②概 要：松葉がにの解禁にあわせ、県内の観光地の紹介や名古屋駅でのイベント、ジェイアール名古屋タカシマヤでの松葉がにの即売会、名古屋駅構内でのレストランフェアの告知を行った。

(2) マスコミキャラバン【実施済】

①日 時：令和元年11月8日（金）

②概 要：とっとり観光親善大使が新聞3紙、テレビ2社を訪問し、ウエルカニキャンペーンや県内の観光地、名古屋駅で行っている鳥取県レストランフェアなどのPRを行った。

